



明日を拓く

学校報
令和元年11月12日
No.38
美郷町立美郷中学校

■栄叶の仲間への想いを込めて！有終の合唱♡



11月6日(水)、大曲市民会館で開催された第57回大曲仙北小中学校音楽祭に、本校代表として3年3組が出演しました。いずれの学校代表も素晴らしい合唱でしたが、3年3組も美郷中の最優秀学級の誇りを胸に、仲間への想いを込めて堂々と歌い上げ、大ホールにハーモニーを響かせました。

立派なホールで気持ちよく声を合わせたことは、きっとよい思い出になることでしょう。そして、これを機に、「進路に向けて頑張るぞ」と、気持ちの転換も図られたのではないのでしょうか。

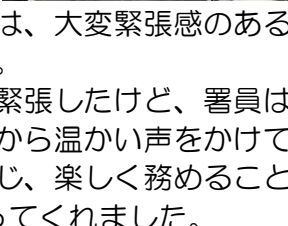
■緊張の一日消防署長！地域と職務に誇りを♡

報道等でご承知のとおり、去る11月3日(日)、2年生のH.〇〇さんが、大曲消防署南分署の一日消防署長に任命され、「秋の火災予防運動」の一翼を担いました。

写真のように消防署員や消防団員がずらりと整列した前に立って、あいさつをしたり一斉放水の合図を出したりというのは、大変緊張感のある大仕事だったと思います。

H.さんは「とっても緊張したけど、署員はじめ団員や町内の皆さんから温かい声をかけてもらって職務に誇りを感じ、楽しく務めることができた。」と感想を語ってくれました。

本校も暖房器具の点検を進め、安全第一で暖房を入れております。頭寒足熱で学習に集中！



■栄養教諭を目指して教育実習授業実施！

11月5日(火)～13日(水)の期間、町南学校給食センター栄養士のH.〇〇先生(仙南小学校所属)が、栄養教諭の資格取得を目指して、本校で教育実習を行っています。



12日(火)は、1年1組の家庭科の時間で、「栄養素の種類と働きを知ろう」という内容の研究授業を行いました。

給食に関わっている経験を生かした教材の提示や話題の活用などに、生徒は興味・関心をもって意欲的に授業に臨んでいました。

食材や調理師さんたちに囲まれる毎日とは全く異なる学校空間での生活はどうだったでしょうか。次回は感想を紹介します。

ஸ்ரீஸ்தி சாவுடீயீ : கன்நிசு

所変われば作法や風習が異なるのは当然のことですが、タイのトイレも特色があります。

かつて経験したマレーシアと韓国の流儀を合わせた方式でした。ここで大切なことは「水洗トイレ」の「水洗」の考え方です。

マレーシアは、自分の体とトイレの器の両方を「水洗」するので、ある意味で先進の清潔感ですが、トイレトーパーが備えられてなく、それに代わる道具や概念も見つけることができませんでした。洗った後どうやっているのか、疑問はまだ解決していません。器の脇に体を洗うホースが蛇口から下がっています。常に袋ティッシュを持ち歩きました。

一方、韓国はトイレトーパーは備え付けられてはいますが、流してはいけません。理由は分かりません。なかなか慣れませんでした。脇に役割を終えたペーパーを入れる箱が置かれていますが、蓋がありませんでした。それを視野に入れながらというの、なかなか落ち着きませんでした。

タイは、マレーシア同様に体も器も水洗し、ペーパーは流さずに脇のボックスに入れます。しかも、ホテル以外ではトイレトーパーはあまり備えられていません。学校の生徒用トイレや飲食店では、入り口付近にペーパーが付けられている場合もあり、そこから必要量を手にして個室に入ります。収集した情報によると、下水道管が細く、水圧も弱いため詰まってしまうそうです。

大切な心構えは、ホテル以外では極力トイレを使用しなくてもよいようにすることで、飲まず、食わず、おなかを痛めず、です。でも、水分補給は大切です。

